

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	男 50代	統合失調症 (C型肝炎, 高血圧, 肝 機能異常)	75mg (2回)	<p>中肉中背の男性, 飲酒あり(量は不明だが, 多い)。 血圧は過去に200mmHgを継続して超えていた時期もある。 統合失調症の再燃も過去に多々あり, かつ合併症に対する多剤服用を 考慮すると, <u>患者自身の全身状態は, 原疾患の病態変化も含め, 好ま しい状況ではなかった。服薬を止めると血圧が上昇することがあった。</u></p> <p>投与約12年 6ヶ月前 統合失調症と診断された。 統合失調症により入退院を繰り返していた。集団診療から1人暮らしを 始めることをきっかけに, 経口抗精神病薬の内服コンプライアンスが不 良となることを考慮し, 数年前にリスペリドン持効性注射液に切り替えて いる。</p> <p>投与約1ヶ月前 投与14日前 リスペリドン持効性注射液 37.5mg 投与。 リスペリドン持効性注射液 25mg に減量して投与(リスペリドン持効性注 射液の最終投与)。</p> <p>日付不明 投与開始日 <u>原疾患の悪化(多弁)が認められた。</u> <u>リスペリドン持効性注射液減量後に症状悪化したため, リスペリドン持効 性注射液 37.5mg(増量)相当の本剤 75mg投与開始。</u></p> <p>投与32日後 本剤 75mg 投与(2回目)いずれも三角筋への投与であり, 死亡報告を 受けるまで通院はなかった。</p> <p>投与40日後 (発現日) 自宅で亡くなっているのを家族が発見した。その後の情報は不明。</p>
併用薬: <u>ゾテピン</u> , ウルソデオキシコール酸, アテノロール, カンデサルタン シレキセチル, バルサルタン, バルプロ酸ナトリウム, カリジノゲナーゼ, トリクロルメチアジド				

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	女 60代	統合失調症 (低血圧, 不 整脈)	150mg (2回)	日付不明 投与約3年4ヶ月前 投与約3年前 投与14日前 投与開始日 投与28日後 投与34日後 (発現日)	<p>リスペリドン持効性注射液使用以前は4回ほど入院経験あり。毎年、健康診断を他院で受けており、特に異常はみあたらなかった。</p> <p>ミドドリン塩酸塩4mg/日、オランザピン 17.5mg/日、クエチアピンフマル酸塩 400mg/日投与開始。</p> <p>リスペリドン持効性注射液 50mg/2週投与開始。リスペリドン持効性注射液導入以降入院はなし。</p> <p>健康診断にて不整脈の疑いがあり、近隣内科にて精密検査が行われたが異常はみられず、特に治療も行っていなかった。</p> <p><u>リスペリドン持効性注射液 50mg投与(本剤切り替え前の最終投与)。</u></p> <p><u>本剤 150mg投与開始。</u> 投与部位:三角筋 本剤投与前後において特段の変化はなかった。</p> <p>本剤 150mg 投与。 投与部位:三角筋 オランザピン 15mg に減量。</p> <p>心筋梗塞発現。患者は、浴室で心肺停止状態で発見された。 心筋梗塞のため患者死亡。</p>
併用薬: ミドドリン塩酸塩, オランザピン, クエチアピンフマル酸塩, クロナゼパム, バルプロ酸ナトリウム, センノシド, レボメプロマジンマレイン酸塩, プロメタジン塩酸塩, パンテチン, センナ・センナ実, 酸化マグネシウム, 大建中湯, モサプリドクエン酸塩水和物, ビペリデン塩酸塩, ジスチグミン臭化物					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
3	男 50代	統合失調症 (高血圧, 肥満, 糖尿病, 錐体外路症 状)	150mg (1回) 100mg (1回) 150mg (1回)	<p>BMI:41.2 家族同居, 服薬アドヒアランスは比較的良好であった。被害妄想(自分の心が読まれている, 他人が監視しているなど), 錐体外路症状(ふるえ), 精神症状は全般的に安定していた。当院への入院歴あり(3回)。</p> <p>投与約30年前 当院にて初診。当初, うつと診断されたが, その後統合失調症と診断。</p> <p>投与約9年7ヶ月前 リスペリドン錠6mg 投与開始。</p> <p>投与約1年9ヶ月前 リスペリドン錠 12mg に増量。 パリペリドン徐放錠6mg 投与開始。</p> <p>投与約1年8ヶ月前 リスペリドン錠9mgに減量。 パリペリドン徐放錠 12mgに増量。</p> <p>投与開始日 本剤 150mg投与開始(初回, 投与部位:三角筋)。</p> <p>初回投与7日後 本剤 100mg投与(2回目, 投与部位:三角筋)。 リスペリドン錠6mgに減量。</p> <p>初回投与35日後 診察時, 特に愁訴なし。幻聴(カチカチという音が聞こえる)の訴えあり。錐体外路症状(ふるえ)が軽減していたため, <u>本剤を 150mgにて投与(3回目, 投与部位:右三角筋)</u> リスペリドン錠5mgに減量。 その他, 特に愁訴なし。</p> <p>日付不明 「歩くとゼイゼイする」症状がみられる。</p> <p>日付不明 上記症状のため, 他院内科受診。心電図, レントゲンに異常なく, そのまま帰宅。</p> <p>初回投与42日後 当院受診。上記の症状があったことを患者より聴取。</p> <p>初回投与43日後 (発現日) 心肺停止状態で家族が発見。朝, 救急隊より心肺停止状態で発見され, 救急搬送中との連絡が当院にあり。その1時間半後, 他院に搬送されたが死亡したとの連絡が当院にあり。</p>	
併用薬: パリペリドン徐放錠, リスペリドン錠, 炭酸リチウム, ビペリドン塩酸塩, メキタジン, ロラゼパム, トリアゾラム, エスゾピクロン, ピコスルファートナトリウム水和物, 抑肝散, センノシド, テルミサルタン, アロプリノール, フェノフィブラート, メトホルミン塩酸塩, 徐放性酒石酸トルテロジン					